

# 超音波検査手技の感染リスク分類表

これから行う超音波検査手技について、この分類に従い感染リスクとバンドルの参照先を確認してください。

プローブ接触面	表皮			粘膜		臓器
使用目的	健常な皮膚の走査 (スキャン)	非健常な皮膚の走査 (スキャン)	超音波ガイド下 経皮的インターベンション・ 組織生検など	走査(スキャン)	超音波ガイド下組織生検など	走査(スキャン)
共通	体表エコー 血管エコー (頭部・頸部・胸部・腹部・下肢など)	体表エコー 血管エコー (頭部・頸部・胸部・腹部・下肢など) 注: 損傷のある皮膚(創部・湿疹・熱傷の周囲など)に用いる場合	カテーテル挿入 (中心/末梢静脈・Aライン) ドレナージ・穿刺 (胸腔・腹腔・心嚢・膿瘍など)	管腔エコー	超音波内視鏡下治療 (超音波内視鏡下穿刺吸引法) (超音波内視鏡下胆道ドレナージ) (超音波内視鏡下膿瘍ドレナージ)	
外科			組織生検 (肝臓・腎臓・甲状腺・乳腺など) 経皮的ラジオ波焼灼 関節注射・穿刺			術中エコー (脳・心臓・肝臓など)
循環器内科			心臓カテーテル挿入	経食道エコー		
産科婦人科		経会陰エコー	羊水穿刺 絨毛穿刺 胎児治療	経膈エコー	卵胞穿刺(採卵)	
泌尿器科			穿刺(膀胱・陰嚢) 膀胱瘻・腎瘻	経直腸エコー	前立腺生検 ブラキセラピー	
新生児(NICU)		体表エコー ・低出生体重児で皮膚の上皮化が未成熟 ・臍処理が完了していない				
救急外来		外傷エコー(FAST)				
麻酔科			区域麻酔 神経ブロック			
透析		シャントエコー	血管・シャント拡張 シャント穿刺			
ストラクチャーバンドル	4ページを参照			4ページを参照		4ページを参照
プロセスバンドル (検査前)	6ページを参照			6ページを参照		6ページを参照
プロセスバンドル (検査中)	A) ノンクリティカル相当 6ページを参照	B) セミクリティカル相当 7ページを参照	C) クリティカル相当 7ページを参照	B) セミクリティカル相当 7ページを参照	C) クリティカル相当 7ページを参照	C) クリティカル相当 7ページを参照
プロセスバンドル (検査後)	8ページを参照			8ページを参照		8ページを参照